

情報実験第四

チームでの実験をすすめるために

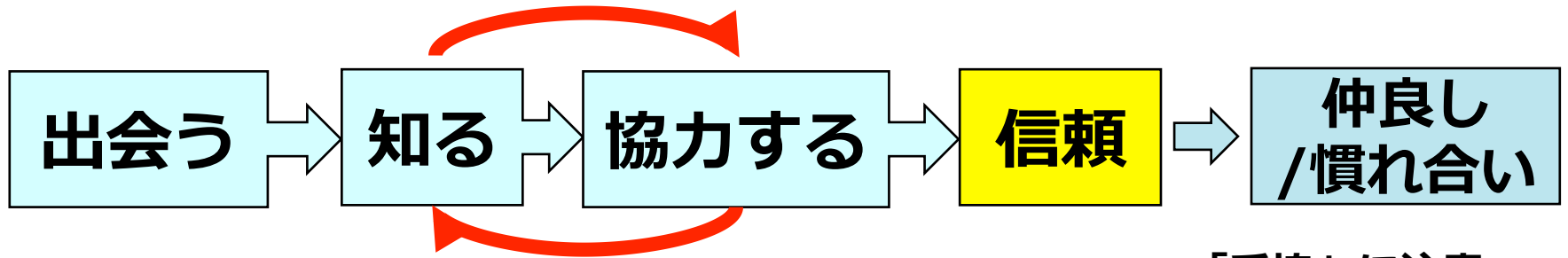
チームで作業をするということ

- チームとグループの違い
 - 目指すゴールがあるか
 - ゴールを共有しているか
- 人と人は出会っただけではチームにならない



チームで作業をするということ

- 関係性づくり = チームビルディング
 - 人は出会ってすぐには「信頼関係」になれない
 - 関係性が育つステップがある



“協力”を通して「お互い」に（さらに）知る

- 個人的なこと、仕事に関係すること
- キャラクター、役割、考え方、

「妥協」に注意

- 安易な妥協と、根拠に
もとづく計画みなおしは
異なる

あの人は
何を考えてるのか分からない
頼んだことをやってくれない
××ない……

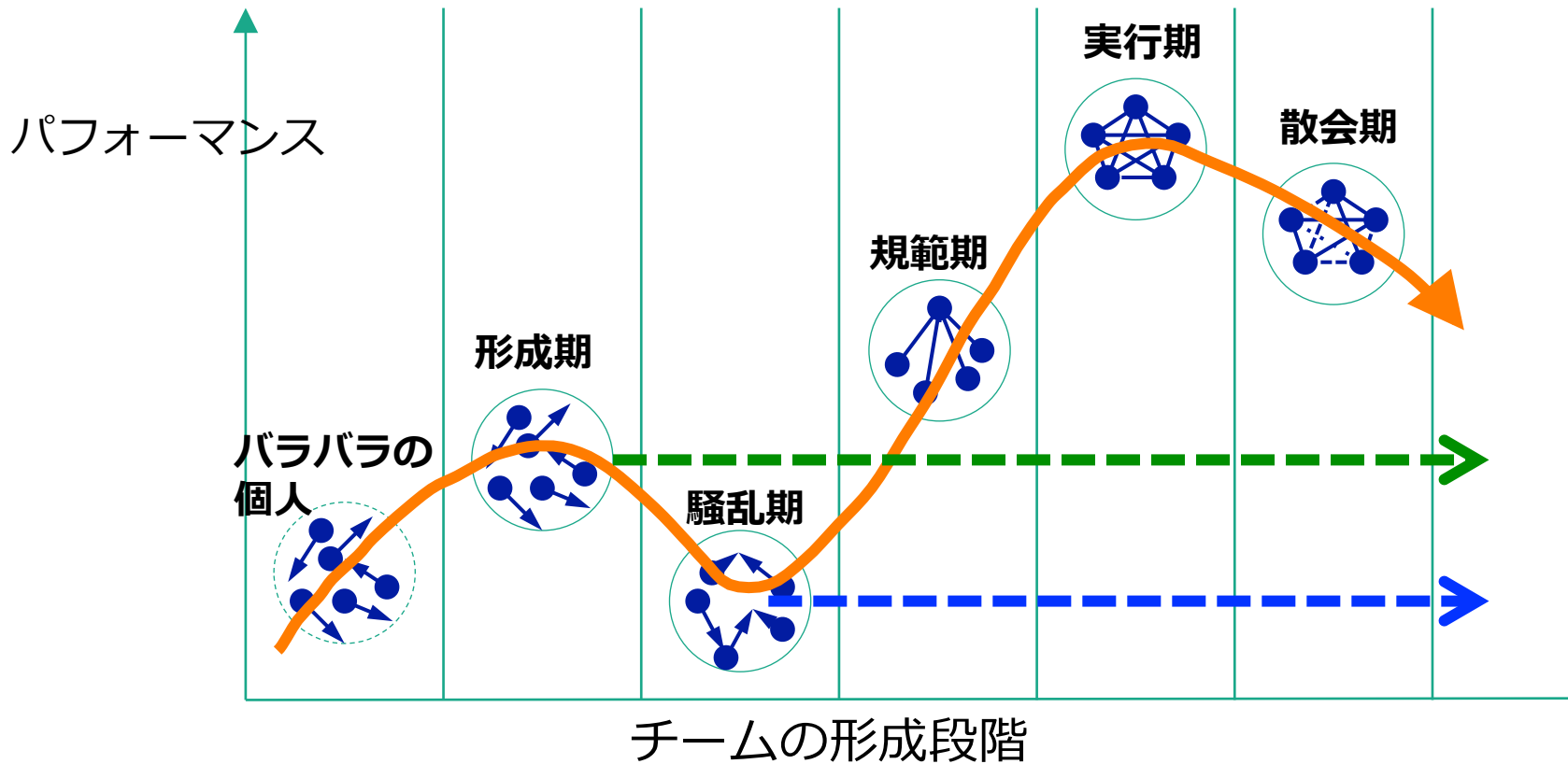
チームで作業をするということ

- 社会的手抜き（リングルマン効果 Ringelmann effect）
 - 集団で作業をすると、個人の努力が疎かになる
 - 1本の綱を一人で引く → 100%のチカラを出す
 - 2人 → 93% 3人 → 85% **8人 → 49%（半分）**
 - チームとして力を発揮するためには！？
- Tuckmanモデル（B.W. Tuckman）

Forming（形成期）	メンバーはお互いを知らない。共通の目的等も分からず模索している。
Storming（騒乱期）	目的、役割、責任等について意見を発するようになり対立が生まれる。
Norming（規範期）	行動規範が確立。他人の考え方を受容し、目的、役割期待等が一致しチーム内の関係性が安定する。
Performing（実行期）	チームに結束力と一体感が生まれ、チームの力が目標達成に向けられる。
Adjourning（散会期）	目的の達成、時間的な制約、事態の急変等の理由によりメンバー間の相互関係が終結する。

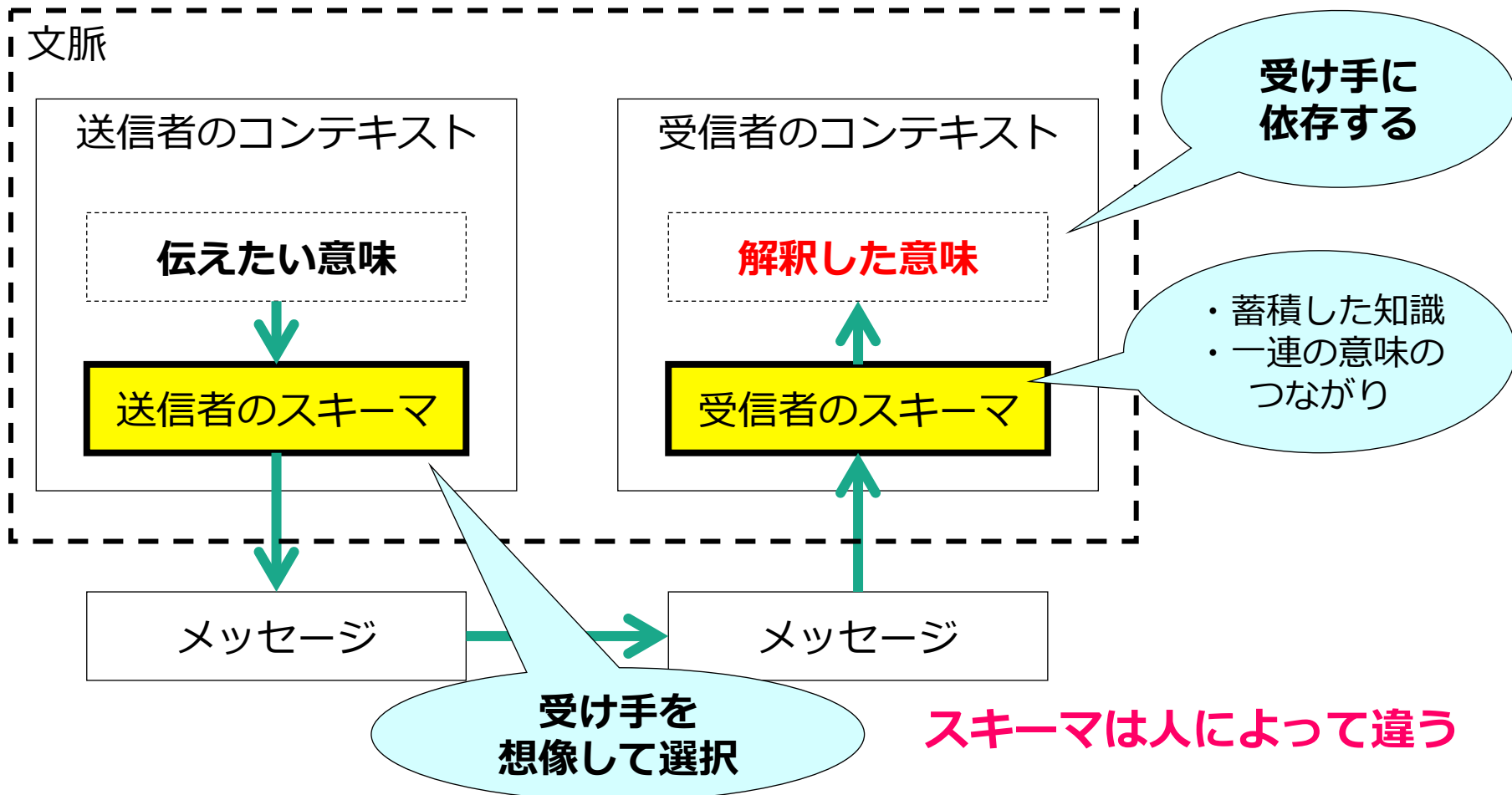
チームで作業をするということ

- チームは勝手に出来るものではなく、意識したチーム作りが必要
 - **チームビルディング**をする
- 騒乱期にどう向き合うか？ → **コンフリクトに向き合う**



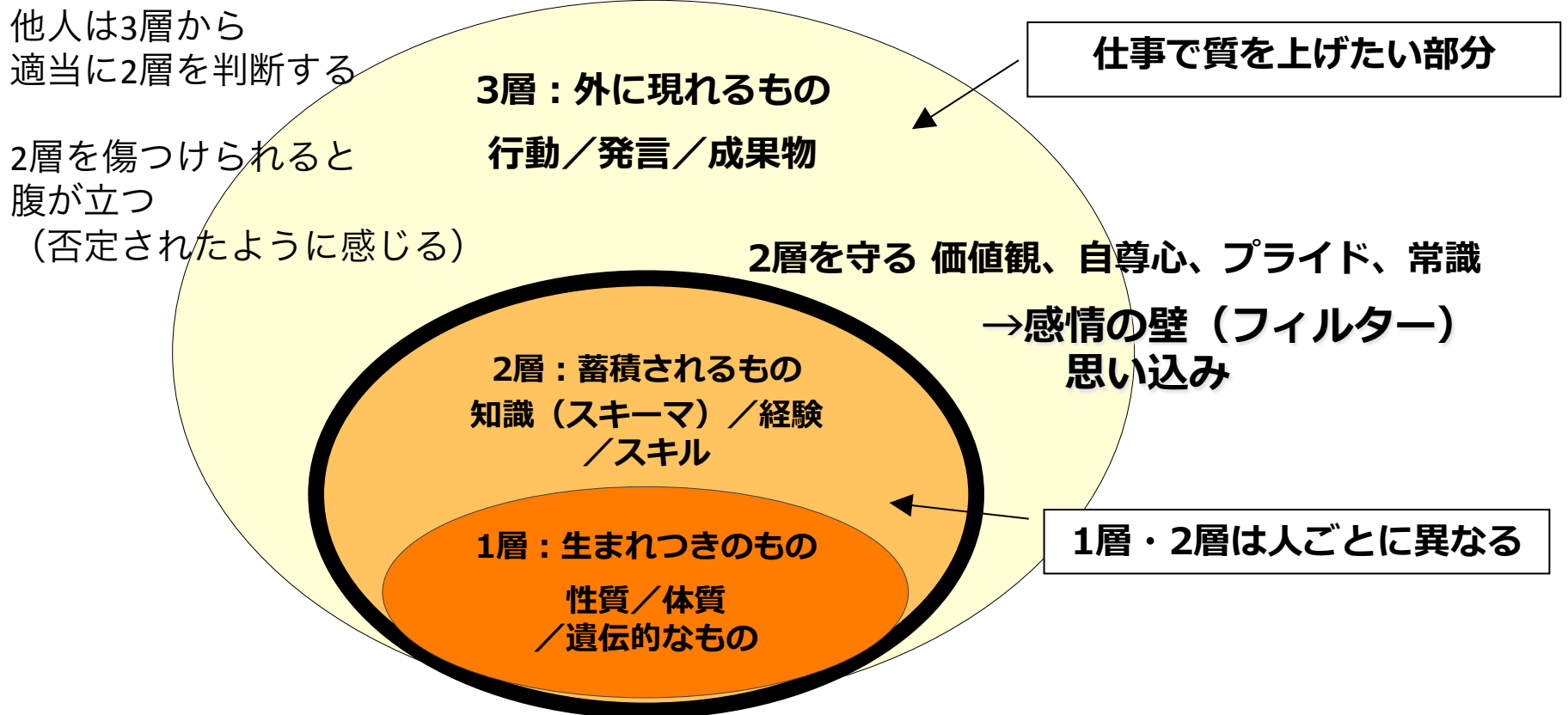
チームで作業をするということ

- 人は「分かる」のが当たり前か？
- コミュニケーション・プロトコル／他者を理解（する努力を）する



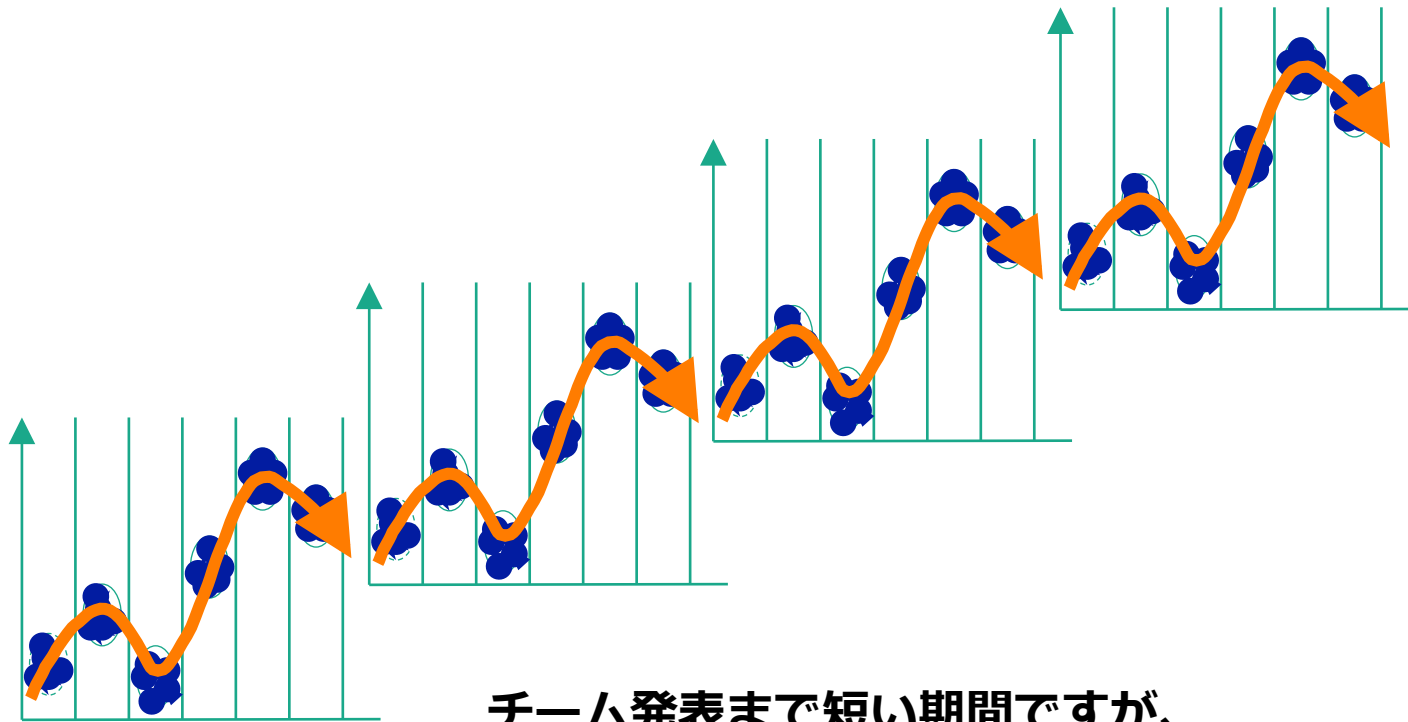
チームで作業をするということ

- 「人はみんな違う」という前提
- ただし、「違い」≠「間違い」 つまり、違いは（ただの）違い



チームで作業をするということ

- チームはリニアに成長しない
- あがったり、さがったり、徐々に成長する
→ 「知る」「協力する」のサイクルと、コンフリクトへの対処



チーム発表まで短い期間ですが、
「知る」「協力する」関係を育てて、
コンフリクトに向き合って成果をだしていきましょう

プロジェクトマネジメント

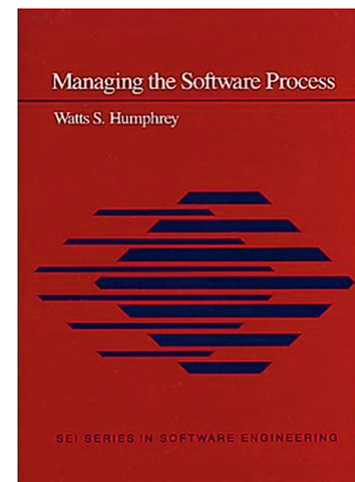
- プロセス・アプローチ

“Process” is a set of interrelated or interacting activities which transforms input into output by using available resources.

“Process Approach” is to clarify the process in the organization to understand the interaction of process and operate a series of process as a system.

- “Managing the Software Process”
(1989 Watt S. Humphrey)

- **A set of** tasks that, when properly performed, produces the desired result.
- A fully effective software process must consider the relationships of all the required tasks, the tools and methods used, and the skill, training, and motivation of people involved.

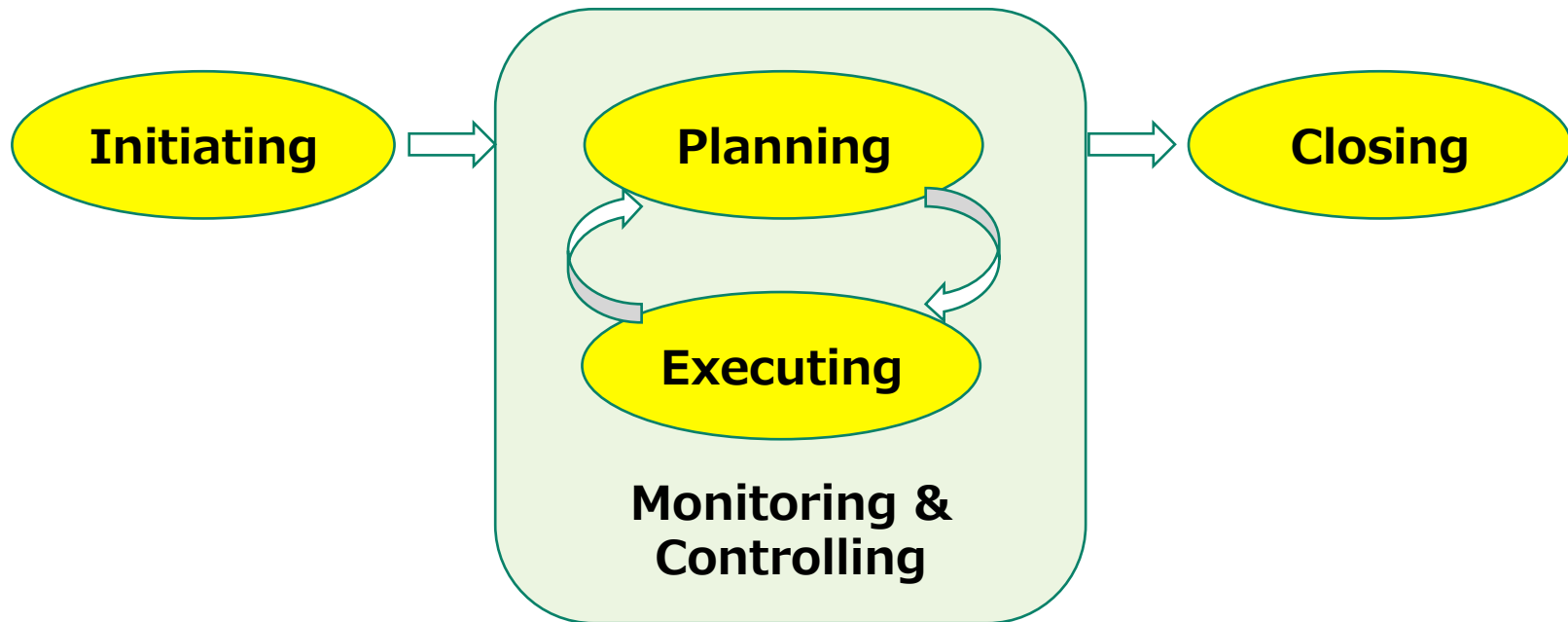


プロジェクトマネジメント

- PMBOK 5つのプロセス群

Initiating / Planning / Executing / Monitoring & Controlling / Closing

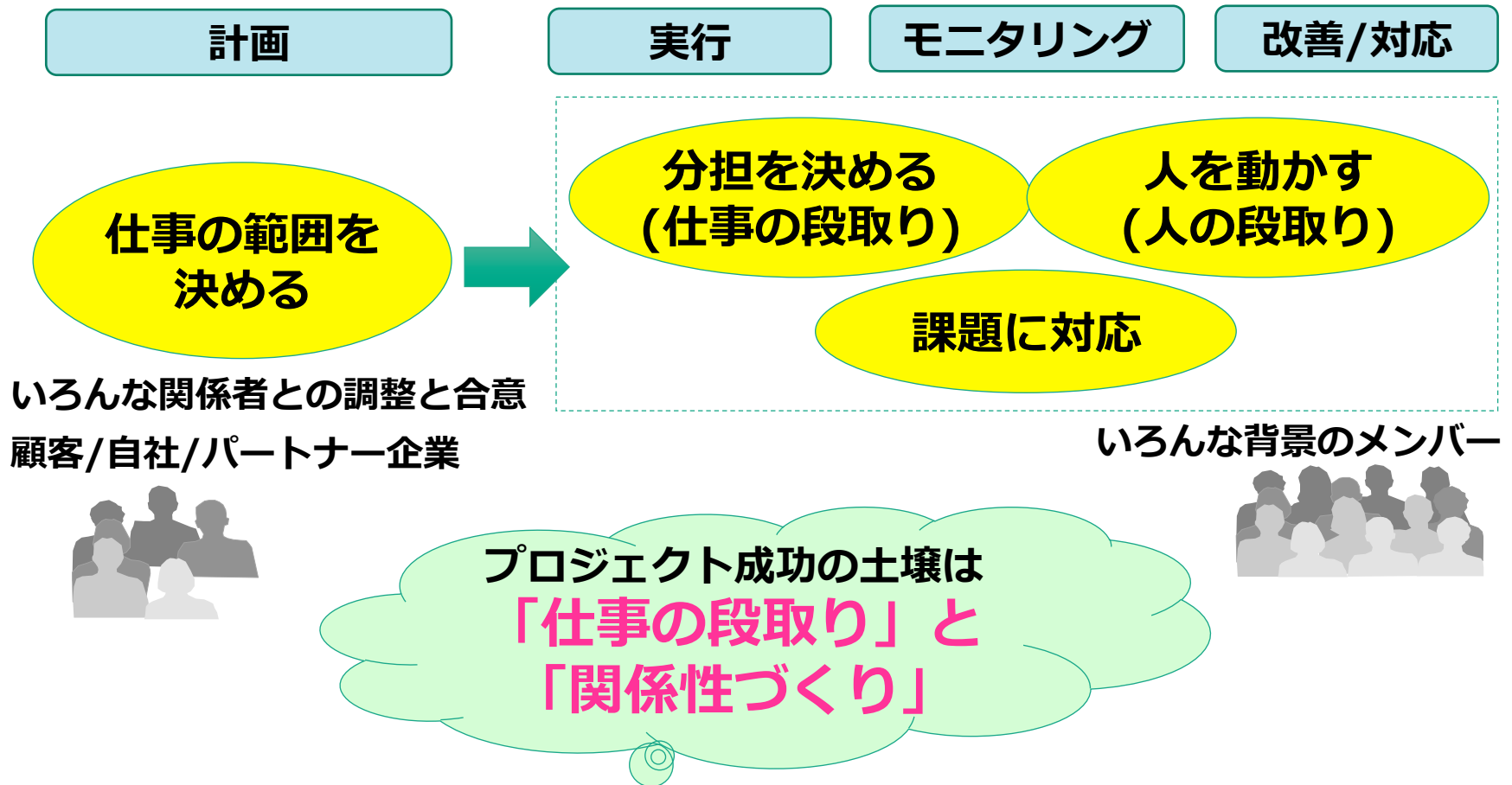
PMBOK : A Guide to the Project Management Body of Knowledge



- 各プロセス群は Input – Process –Output の固まり

プロジェクトマネジメント

- ゴールを目指して，見通しを見つけ，実行する



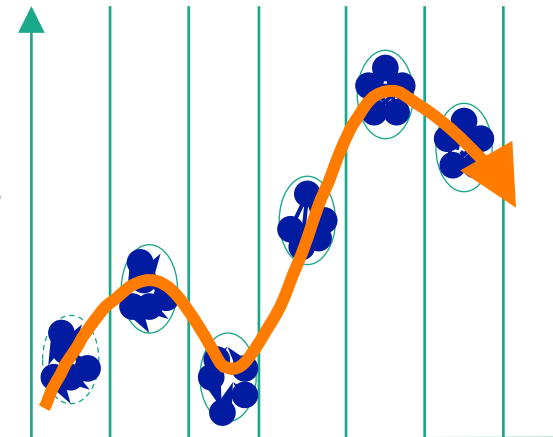
プロジェクト開発をする

- チームとグループの違い
 - 目指す**ゴール**があるか
 - ゴールを**共有**しているか
- まずは
 - メンバーの決定
 - メンバーを知る
 - チーム名を決める ← 共同作業
 - ゴールの設定（合意） ← 課題の理解（目標）
 - どんな成果レベルを目指すのか
 - 具体的な実験内容を検討する
 - 実験計画を立てる
 - （さらに詳しくメンバーを知る：スキルマップ）
 - 役割分担と大まかな日提案を決める



プロジェクト開発をする

- メンバーが決まったので
 - メンバーを知る
 - 名前
 - 得意ワザ、好きなプログラミング言語
 - 最近のマイブーム
 - もし、朝の 9:20 に待ち合わせをするとしたら待ち合わせ場所に何時に行くか？
 - チーム名を決める ← 共同作業
 - どうやって決めましたか？
 - 決めた名前に満足していますか？
 - チームの中で自分の発言は活かされてると感じましたか？



プロジェクト開発をする

- ゴールの設定（合意） ← 課題の理解（目標）
 - どんな成果レベルを目指すのか
 - 具体的な実験内容を検討する
- 実験計画を立てる
 - さらに詳しくメンバーを知る：スキルマップ
 - 得意分野、関心事、実験に使える時間、など
 - 役割分担と大まかな日提案（スケジュール）を決める
 - やるべき作業の洗い出し
 - マイルストーンの設定
 - 何をいつまでにやるか
 - 誰が何をどう担当するか（実施方法、結果の確認方法、など）
- 設定したゴール（開発テーマ）と計画を提出する